

日本建築学会北海道支部 2013 年度第 4 回役員会 議事録

(文責：戸松)

日時：2014 年 3 月 19 日 (18:30～)

場所：北海道建設会館 6 階 支部事務所会議室

出席 (敬称略)：

支部長：岡田

常議員：安藤、海藤、小谷、佐伯、最上、森、白井、高松、千葉、戸松

総務委員長：小澤

学術委員長：佐藤

事務局：菊地

司会：安藤

次回

日時：2014 年 4 月 23 日 (水) 17:30～常任幹事会、18:30～役員会

場所：北海道建設会館中会議室

【報告事項】

1. 前回常議員会議事録確認(資料 4-1)

白井委員より前回議事録の説明がなされ承認された。

2. 本部理事会報告 (資料 4-2)

岡田支部長より 1 月及び 3 月の理事会について報告があった。AIJ の活動説明用 PPT を事務局で準備しているので、必要な場合は本部からもらうことが可能であること、特色ある支部活動について当面休止する可能性があること、企業説明会は 3 月 1 日以降 4 月末日までに終わらせることを経団連等に要望したこと、本部事務局長の人事についてなどが報告された。

3. 支部長会議報告 (資料 4-3、資料 4-3 追加資料)

岡田支部長から第 3 回、第 4 回支部長会議の内容について報告があった。支部費について北海道支部は年 285,000 円アップとなったこと、支部職員の雇用形態については現状維持となったこと、本部と支部の情報共有に関して支部からの要望を 3 月 27 日～28 日までに支部長に提案することが報告された。支部の要望として、Ustream のチャット機能の使用について検討をした。

4. 2013 年度決算見込みについて (資料 4-4)

小澤総務委員長より現時点での見込みが報告された。資料の 3 月分については昨年度の数値を入れていること、大会があったため支出が多いことが報告された。

5. 道内工業高校巡回講演会（資料4-5）

佐伯委員より巡回講演会の開催結果が報告された。各高校からは教材も良く生徒の反応も大変よかったと報告がなされた。

佐藤学術委員長より、次年度のテーマが総会までに出てくる予定であると報告があった。

6. 北海道建築設計会議報告及び北海道建築士会専攻建築士審査評議委員会報告
（資料4-6）

高松委員より資料に沿って報告がされた。

7. 各委員の役割分担の進捗状況（資料4-7）

各委員より進捗状況の報告がされた。支部長からは前回の役員会で一定の結論が出たと認識しているとの発言があった。

8. 学術委員会報告（資料4-8）

佐藤学術委員長より資料に沿って委員会の報告がされた。

9. 支部研究発表会報告(資料4-9)

支部研実行委員会森主査から資料に沿って委員会の報告がされた。森主査から、会場が札幌から遠いことから積極的な参加の呼びかけがなされた。小澤委員から投稿システムにある原則30歳以下の定義について質問があり、森主査から来年度以降検討したい旨の報告があった。

【審議・承認事項】

10. 構造専門員会より支部研でのパネル展示について（資料4-10）

白井委員より、若手会員と社会人との交流の場を創設することとを狙いとして、構造部門のセッションにおいて構造分野の技術や実施例について企業の方の展示を実施したいとの提案があった。

審議の結果、取り組みとしては非常に有意義であり次年度以降に大きく展開することも視野に入れて、今年度は構造専門委員会のみで実施することとした。また実施結果は支部HPで公開することとした。

11. 支部選挙管理委員会について（資料4-11）

司会より選挙管理委員会委員が提案され、原案とおりに承認された。

12. 北海道支部技術賞について（資料4-12）

佐藤学術委員長より、選考経緯について報告がなされた。学術委員会の報告とおりに今年度は受賞対象者なしとなった。なお、応募案件に対するコメントはそのまま開示せず、簡便な形で総会に報告することとなる。

13. 構造専門員会主催ワークショップについて（資料4-13）

14. 環境工学専門委員会主催ワークショップ等について2件（資料4-14）

15. 講演依頼について（回覧資料）

13～15について原案とおりに承認した。

以上